

現代社会で求められる能力とは
高校時代に身に付けておくべきこと

経済同友会会員

林 明夫

1. はじめに 自己紹介

(1) 私の好きな言葉

ブルドッグ魂(食いついたら離すな)	岡田忠治
練習で泣いて、試合で笑え	椎名弘
一所懸命(一つのところで命を懸けるつもりでがんばれ)	足利高校マラソン大会
常に最悪の場合を予想して行動せよ	峯村光郎
注意一秒、ケガ一生	宮沢浩一
会った人は、皆友達。よいことをして忘れる	石川洋
本当の月を見たことがあるのか、本当の自分を見たことがあるのか	石川洋
離見の見(りけんのけん)。初心忘るべからず	世阿弥
持続する志	大江健三郎
目には遠いが心は近い	インドのことわざ
教育ある人とは勉強し続ける人	ドラッカー
一生勉強、一生青春	相田みつを
*好きな言葉に出会ったら「ノートにメモ」し、一生大切にすること	

(2) 私の仕事、社会的活動

開倫塾 塾長(学習塾。栃木県、群馬県、茨城県に65校)

有朋高等学院 理事長(福島市)

宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授

マニー株式会社(手術用縫合針製造)顧問 元社外取締役(宇都宮、ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン)

特別養護老人ホーム清明苑 理事(足利市)

公益社団法人経済同友会 幹事 サービス産業活性化PT(プロジェクト・チーム)副委員長

足利市経済活性化諮問会議 会長(まちづくりPT、もの・ことづくりPT、教育改革PT、医療・介護・福祉PT) など

2. これからの社会で求められる能力とは(キー・コンピテンシー)世界に出る戸の鍵を開く能力

- (1) 知識基盤社会 (Knowledge Based Society)... 知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力
- (2) グローバル社会... 多様な集団で交流する能力
- (3) 課題山積社会... 自律的に活動する能力

3. 上記3つの能力(キー・コンピテンシー)の前提となる条件

- (1) 「読書による思慮深さ(しりょぶかさ)」を身に付けていること
 - 「書き抜き読書ノート」を
 - 「新聞を読み自分で考える力、批判的思考(critical thinking クリティカル・シンキング)能力」を身に付けていること(「スクラップ・ブック」を)
- (2) 学習の仕方を身に付けていること(Learning to Learn ラーニング・トゥ・ラーン)
 - 「学ぶ(Study)」... 「理解」すること。うんなるほどとよくわかる、納得する、腑に落ちる
 - 「習う(Learn)」... 「定着」すること。「理解」したことを身に付ける(音読練習、書き取り練習、計算・問題練習 練習は不可能を可能にする 小泉信三)
 - 「応用」... よい点数をとること。社会で役立てること
 - { 定期テスト... 満点を目指す [過去問5年分の研究を]
 - { 入試・資格試験... 合格点を目指す

— スポーツの3つの宝 —
フェア・プレーの精神
よき友
練習は不可能を可能にする

4. 高校での勉強は役に立つか... すべて役に立つ

- (1) 大学・短期大学・専門学校・大学院など、所謂(いわゆる)高等教育機関での教育・研究はすべて高校での学習内容をすべて「理解」し「定着」していることを前提に行われるので、高校での勉強はすべて上級学校で役に立つ
- (2) 企業や官公庁、NPOなどの活動も同様。ありとあらゆるところで高校の勉強は役に立つ
 - * 就職試験に最も役に立つのは高校での学習内容
- (3) 高校の教科書・教材・授業ノートはすべて保存し、折に触れ読み返す
- (4) ものごとを考えるすべての基礎は高校での勉強と考えるべき
- (5) 文系の方は、数学・生物・物理・化学など理系の科目を大切にする
- (6) 理系の方は、古文・漢文・日本史・世界史・倫理・政治経済など文系の科目を大切にする
- (7) 英語・現国・地理・美術・音楽・保健体育・技術家庭などは文系・理系を問わず最重要
- (8) 辞書や参考書の使い方、図書館の使い方、ノートの使い方、「テスト勉強の仕方」も身に付けておく(テキストとノートはスミからスミまでよく理解した上ですべて身に付ける、覚え込む)
- (9) 大学や社会では自分一人の力で新しい科目や分野を学習(「理解」した上で「定着」させ、「テスト」を受け、実際に用いる)する必要が毎日のように出てくるので、高校在学中に「自己学習能力」を身に付けることが求められる
- (10) 学校行事や部活動などの学校生活を通じて、「規律ある行動能力」や躰(しつけ)(「美しい立居振舞い」、「敬語表現を含む言葉遣い」)、「コミュニケーション能力」も身に付けること

英語と CTI(コンピュータ)、
数学の統計・確率は最重要

が求められる

(11) 高校生は読書を どんな本を読んだらよいか

各教科の教科書に出ている本はできるだけ多く読む

気に入った著者の本はすべて読むのも一つの考え。但し、せっかく読むなら高校時代は教科書に出ている各分野の古典と呼ばれるものを読むことをお勧めする

最近読んだ本

・内村鑑三「後世への最大遺物、デンマルク国の話」「代表的日本人」

・ヘルマン・ヘッセ「車輪の下」

・樋口一葉「おおつごもり」

・小西甚一「古文の読解」「基本古語辞典」(参考書選び、辞書選びも大切)

・「論語」、夏目漱石、正岡子規、世阿弥などはいつも読む

高校生は新聞を毎日読むこと。英語の好きな人は英字新聞を毎日読む

NHK の語学番組を活用すること。「放送大学」も最大限活用する(英語以外の外国語にもNHK の番組で親しむ)

— 人が後の世に遺せるもの —
・お金・事業(仕事)・作品(著作)
・教育・生き方

(12) 学習の成果はすぐに出ないので、あせらないこと。ケータイ、ゲーム、悩むことはほどほどに

5 . おわりに

(1) 日本各地や外国に出掛け、世界はどうなっているかを自分の目でしっかりと見、自分の力でものごとを考える

(2) これからは、「自己責任」「自助努力」「自分の未来は自分で切り開く」「あきらめたらおしまい」の精神で

(3) 但し、「健康第一(身体健康、心の健康)」

(4) 高校の同級生は一生の友達、先生は恩師。少しずつでも友情を育もう

(5) 自分を責めない。他人も責めない。自分のよいところ、他人のよいところを探し、お互いの存在を認め合おう。自分でされていやなことは、相手にもしない

(6) 感謝の心を

* 元気な「あいさつ」はコミュニケーションを促進する

感謝

* 御清聴を感謝申し上げます。御質問や御意見がありましたら、話の途中でも御自由に御発言下さい。